



さんじょう

三条のものづくり



マルナオ



マルナオのはしは、とても使いやすい
やすく、高級なことで有名です。
1万5千円以上するはしもあります。
はし作りのひみつを取材しました。
案内してくれたのは、せいぞうた
ん当の小川直也さんです。



会社について

初代社長は、神社などにあるちよつこくを作り、二代目になってからは、大工道具を作っていました。時代が変わり、三代目の社長が、はしを作るようになりました。

はしについて

マルナオのはしは八角形です。社長が研究を重ね、八角形が一番使いやすいことを発見しました。
使いやすいはしはもちろん、デザインにもこだわっています。人工大理石を使ったり、木に色をしみこませたりして、おしゃれなはしができます。デザインは全てしよく人さんが考えているそうです。



高い理由は？

マルナオのはしが高い理由は、2つあります。1つ目は、「黒壇」と「紫壇」という手に入れるのがむずかしい木を使っているからです。東南アジアなど気温が高い所でとれて、中身がぎっしりつまっているのです。かたく折れにくいそうです。材料の中でも、はしとして使える部分はごく一部で、とても貴重です。2つ目は、手作業で作っているからです。完成するまでに、98の工程があつて、機械も使いますが、しよく人が丁寧に作っているのです。かちが高くなるそうです。



材料の木材は、中身が詰まっているから、すごく重たい！



マルナオ

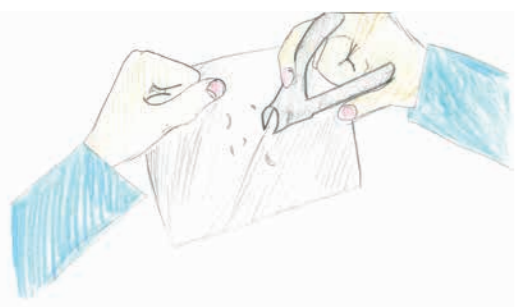
さんじょうしや だ
三条市矢田 1662-1
でん 話 45-7001

諏訪田製作所

諏訪田製作所のはしは、普通のつめ切りと全然ちがいます。かつこよくて高級なつめ切りは外国でも使われています。
せいぞうたん当の佐藤和泰さんからお話を聞きました。

どんな会社なの？

もともと建ちく用のくい切という工具を作っていました。つめ切りは、約70年前の昭和23年から作り始めたそうです。昔はつめ切りがなかったため、小がたなやすりでつめを切っていました。そこに気が付き、くい切を小さくして、つめ切りにしたそうです。年々デザインなども進化していて、せい品は、イギリス、ドイツ、アメリカ、フランスなど、15カ国の国に輸出しているそうです。



どうして高級なの？

諏訪田製作所のはしは、機械に加えて手作業で作っていて、しよく人のじゆく練のわざで、丁寧に仕上げられています。中には、70年以上も働いているしよく人がいて、かみの毛の細さくらいまで、うすくする部分もあります。それが高級な理由です。こだわりのは、ねだん以上の物を作ることだそうです。

大変なこと、やりがい

つめ切りの刃をぴったり合わせるのは、むずかしい作業で、刃をけずりすぎると元にもどすことができないので、とても注意が必要です。
やりがいは、工場を見学に来た人を案内したときに、喜んでくれたり、「すごい！」と言ってもらえたりすることだそうです。



すわだせいさくじよ 諏訪田製作所

さんじょうしこうあんじ
三条市高安寺 1332
でん 話 45-6111



キツザニアマイスター
フェスティバル in 三条
さんじょう

8月 がつ 三條夏まつり
さんじょうなつまつり
7月 がつ 栄ふるさと夏まつり
さかふるさとなつまつり
6月 がつ 三條凧合戦
さんじょういたがっせん
5月 がつ 三條祭り
さんじょうまつり

三條マルシェ
さんじょうマルシェ
4月、5月、7月、8月 がつ
ほとんど毎月あります！
まいつき

イベント
4月58月 がつ
じょうほう♡



うらだてしょうがっこう ねん
裏館小学校 4年
にした ところ
新田 ころ
はじめての取材だった
けど、しつ間をした
り、写真をとったり、きんちょう
したけど、楽しかったです。



おおもしょうがっこう ねん
大面小学校 5年
しづかわ の あ
澁川 乃亜
すわだせいさくじょ
諏訪田製作所さんの
つめ切りは、工て
いが細かいことが分かりました。
しづかわの
取材は楽しかったです。



うらだてしょうがっこう ねん
裏館小学校 4年
いし い み さ き
石井 美咲
マルナオさんで、
もくざい まん なか つか
木材の真ん中しか使
わないと聞いて、とてもきちょう
なものだと思いました。



さかえちゅうおうしょうがっこう ねん
栄中央小学校 5年
たかやま せ な
高山 星那
はしがなんでそんな
たか の か ふ し ぎ
に高いのか不思議
だったけど、理由が分かったし、他
にもいろいろ知れて、良かったです。



おおもしょうがっこう ねん
大面小学校 5年
みやじま あ ん
宮島 杏
わたしは、取材を通
して、しょく人さん
が商品にこめる思いを実感できま
した。とても楽しかったです。



うらだてしょうがっこう ねん
裏館小学校 4年
たかはし い ま り
高橋 伊万里
マルナオさんに行っ
てびっくりしたの
は、石を使っていたことです。
こんど じぶん づく
今度は、自分で作ってみたいです。



おおもしょうがっこう ねん
大面小学校 5年
くわばら ま と い
栞原 纏
わたし すわだせいさくじょ
私は、諏訪田製作所
さんに行っ、たく
さん工ていがあったので、こだわ
りを感じました。



おおもしょうがっこう ねん
大面小学校 5年
わたなべ に こ
渡邊 日香
マルナオさんにたく
さんしつ間できました
た。98の工ていをふんで、はし
ができることが分かりました。

平成29年度子ども記者募集！

なつごう (8月発行) と ふうごう (12月発行) を づく
夏号 (8月発行) と冬号 (12月発行) を作ります。

●対象：市内に住んでいる、市内の学校に通学してい
る小学4年生～6年生

●にん期：平成29年5月～12月31日
(平日の夜や休日に活動)

●おうぼ方法：住所、氏名、学校名、学年、ほご者氏名、
電話番号、メールアドレスを書いて、次
のいずれかの方法でおうぼください。

●〒955-8686 三條市役所 せいさくすい進課 広ほう
広ちょう係 (住所不要)

●ファクス 0256-34-7933

●メール seisaku@city.sanjo.niigata.jp

●おうぼ期げん：4月21日(金)



発行：三條市総務部 政策推進課 〒955-8686 新潟県三條市旭町二丁目3番1号

☎：0256 (34) 5523・ファクス：0256 (34) 7933

メール seisaku@city.sanjo.niigata.jp